

地

の
門



地の門

■この度は夜の勉強会の本を手にとって頂きありがとうございます。
今回は千影触手陵辱本です……
身の危険を感じた人は退避しましょう
Σ(°Д°；≡；°Д°)え？





.....

.....

.....



だめだ・・・
集中できない・・・



人形の・・・呪い一つ
解呪出来ない・・・
なんて・・・



そう言えば……
最近……兄くんの顔を
みていないね……

しゅ……

家に行っても留守だし
電話にも……
咲耶ちゃんとかとは……

デートしている見ただし
……私の事……
どう思っているんだろう

ゴッ

寂しいよ兄くん……

あい……た……い……

あに。。。くん。。。に。。。あい。。。た。。。い。。。

ズズズ

ズズズ

おはよう千影ちゃん

ズリ

ズリ

ズリ

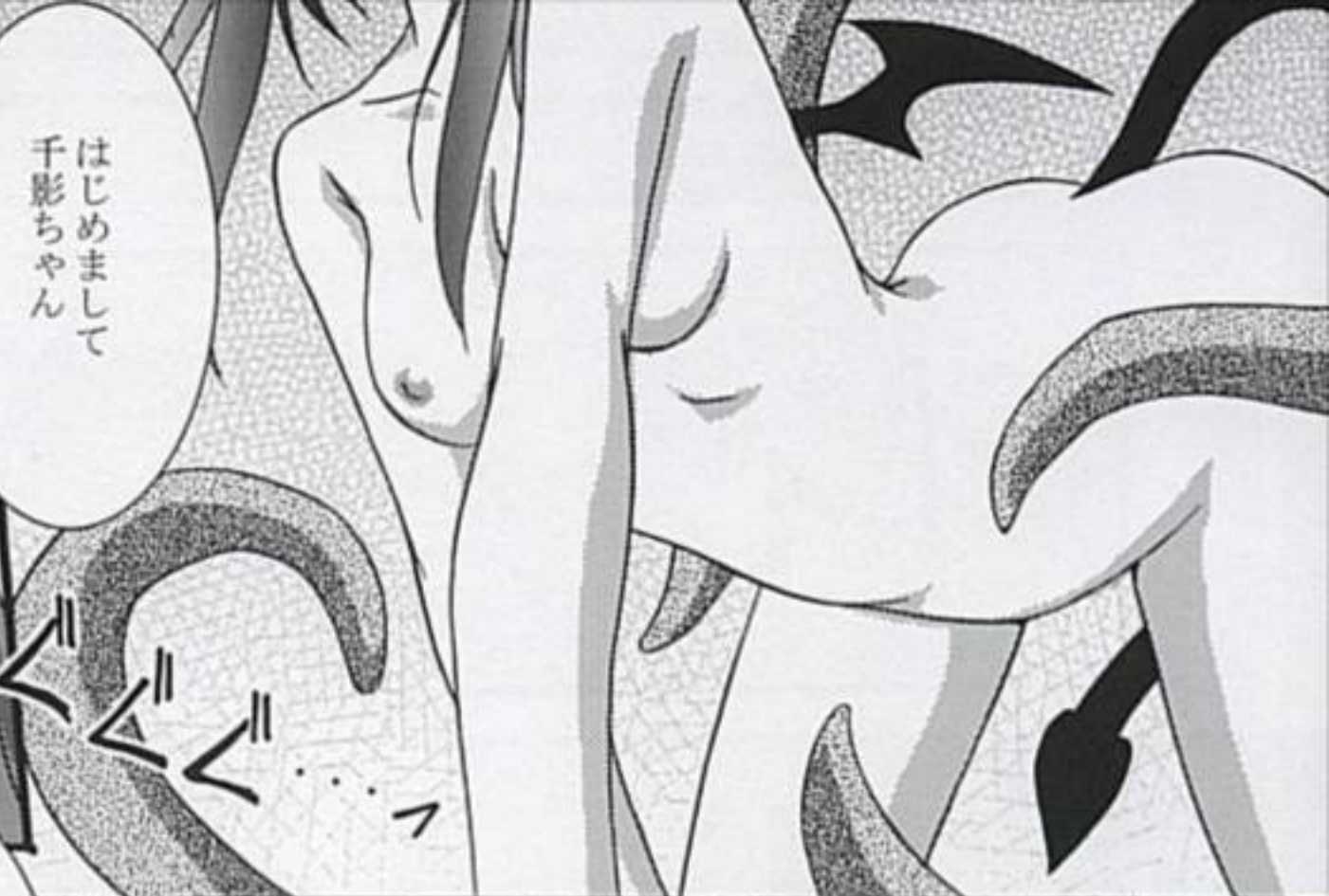
ズリ

こ。。。これは
。。。触手？

なっ



そ……そんな
あ……なた……は



はじめまして
千影ちゃん



まあ正確には貴女の心の奥底に
ある願望が実体化した……
言わば最も濃い千影の部分

そんな驚かなくても良いのよ
私は千影なんだから
貴女と同じ千影……



願望だけに胸も
こんなに豊富でしょ？



ヒキッ

く……っ
わ……私の作り出した影に
しては……邪気が……
強すぎる……

私の中にある負の感情に……
共鳴して……実体化……
したのか……

そうか……あの人形
……人形の呪いが

ガクガク

ガクガク

千影ちゃん

はっ

ぎゅ

ぎゅ

あなた最近兄くんに
逢えなくて寂しいんでしょ？

折角……

強い力を持つてるんだから
もっと素直になれば
いいのに……

他の妹たちのことなんか
忘れて兄くんを独り占め
すればいいのよ

なんなら兄くんの魂を
腐らせて自分しか見えない
様にするとかね……

もっと素直になるように
私が開いてあげる……



自分の事だけど
貴女って結構
感じやすいのね

兄くんの事を想いながら
毎日慰めてる所為かしら？

びくっ

びくっ

びくっ

準備も良い見たいだし
そろそろ行くわね

ズルッ

どう？

太くて立派なモノでしょ？
・・・これはね鍵なの・・・
貴女のナカを抉り回して

なっ

心の奥底にしまつてある
扉を開く鍵・・・

そ・・・そんなっ



む...無理だ...
 そんな大きいの...
 は...入らない...よ

ぐうっ
 お...押し
 広げて...

ふふふっ...コレを通して
 貴女のナカがどうかき回されて
 どうなっているのか伝わって
 くるわ...



あぐっ
 あああああつ

あつ

あ...ああ
 ひぐ...うっ



一突きごとに
飛びそうになる
でしょ？

先端から出てる媚薬が
瞳全体に広がって

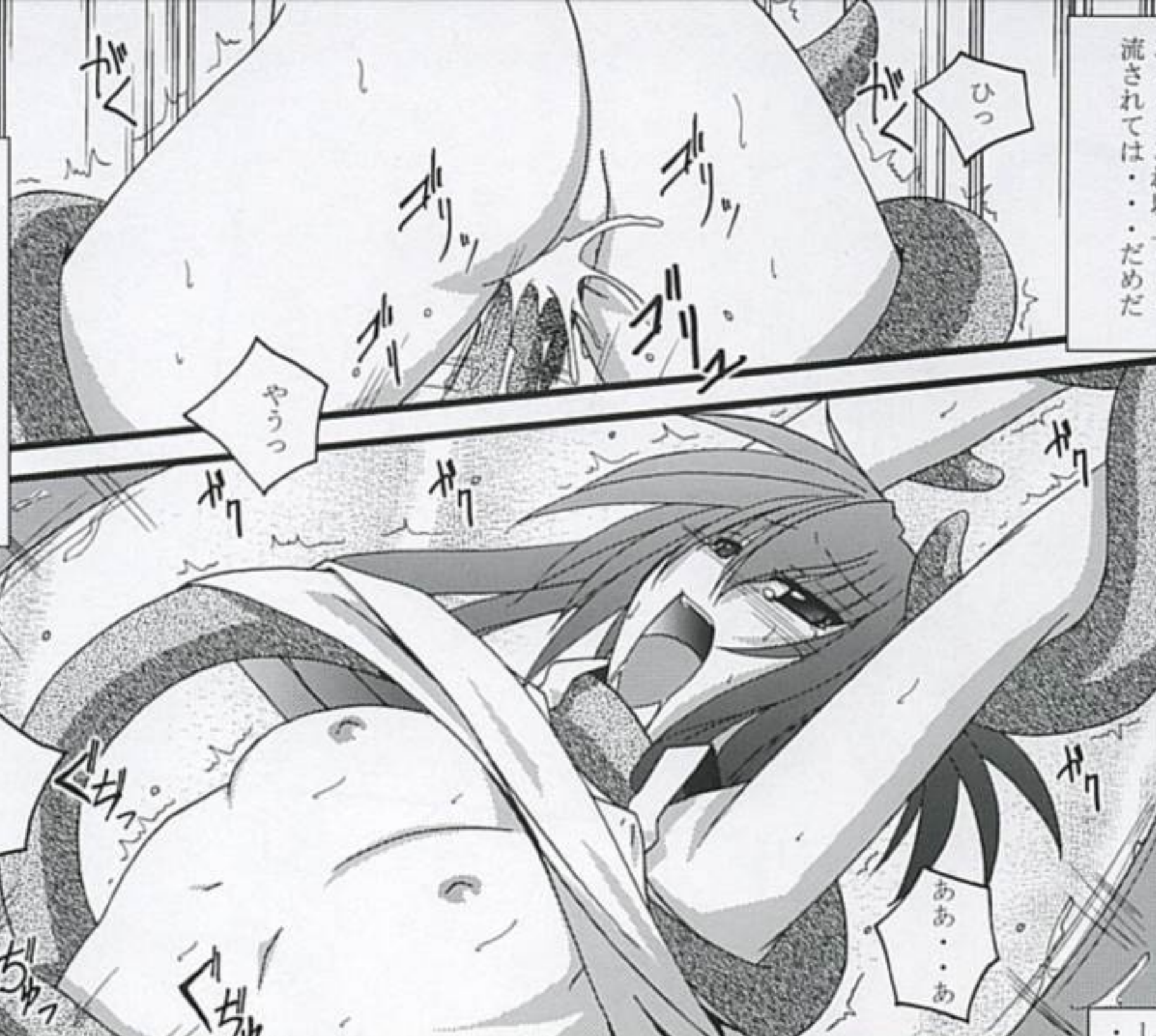
凄く気持ちいいの？
普段は無口なのに
こんなに可愛い声
出しちゃって

もっと奥まで抉ってあげるから
その可愛い声をもっと聞かせて
ちょうだい……

ぬ……抜いて
これ……だめっ

こ……これ以上……
流されては……だめだ

なんとか……自分をコントロール
……してこの状況から……
抜け出すんだ……



くああ……あ

ああ……あ

コ……コントロール
して……あ……あぐ
……あ……あ……

く……あ……だめだ
突き上げられる……たび
あ……頭が真っ白に

だめ……
こんな……



だ……め

あ……あそこが熱い
……く……あ……
……このままじゃ
……わ……私……

く……あ
お……奥に
あたって……

ひあう



あぁっ

・・・まあ我慢
なんか出来る筈も
ないけどね・・・

ふふっ・・・我慢せずに
いっちゃってもいいのよ

あっ

貴女の膣がキュキュって
締め付けてるわ

あ・・・ぐう
だめ・・・っ
が・・・我慢
できないっ

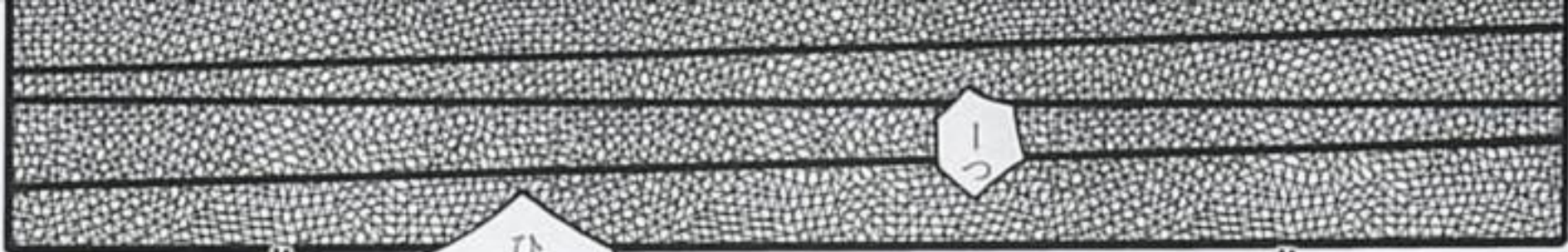
どう？ 普通の人間
なんかじゃ味わえない
気が狂いそうな絶頂でしょ

でも・・・一回程度じゃ
貴女の心の扉は開かない
見たいね・・・

ふあああああ

か・・・快楽に・・・
な・・・流されたら・・・
な・・・だめ・・・
が・・・さ・・・れ・・・
た・・・れ・・・
ら・・・

あ・・・ああ



1つ



ひびい

ヒビキ

ヒビキ

ヒビキ

もう...
やめ...
て...

お...おねがい
...もう



クワッ
クワッ
クワッ

クワッ

クワッ
クワッ
クワッ



あ...あ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

あぐっ

グワッ

グワッ

あひ...
あつ

た...たえ
られ...

あれから三時間経つけど
流石に私と言った所ね
他の娘だと一時間ほどで
壊れるんじゃないかしら？



ご褒美にクリトリスも
いじってあげる

あ...あ
あぐっ

かはっ



も...もう
いくのが...

いくのが
止まら...
ないんだっ



お、お願いっ
やめ...てっ



ふふっ
いい感じになって
きたわね

ペロッ

あ……兄くん
あに……くん
あ……に……

ひ……あう

だ……だめ
……だよ
兄……くん



……残念ね……そう



そうすれば貴女の
大好きな兄くんとも……
ま……まけない

感情に任せて快楽に流されるのは
凄く気持ち良いでしょう？
さあ……このまま心の奥底に
しまいこんでいる貴女の欲望を
開放しなさい

わ……わた……しは
負の……感情……なんか
なが……され……ないよ

それじゃ貴女の心の扉を開くのは
止めてその扉ごと貴女の心を
壊してあげる……

そして……私が貴女に
……そう私が千影に
なるの……

あ……あ

心が完全に壊れるまで
貴女を犯して犯して
犯し続けてあげる

貴女は心が強い分
かなり長い間苦しむと
思うけど快樂の中で
だから良いよね

それじゃね
バイバイ……私

■こんにちは～ふみひろです。
今回は久しぶりのシスプリ千影本です。
て言うか触手本・・・邪悪千影にはエトナ羽尻尾が生えてますね・・・
始めはほのぼので行こうかなあ～とか考えてたんですが
頭の中に住んでいる触手が身体を支配し気が付けばダークな内容にΣ(；∩)
千影が触手に陵辱されるのを黙ってみている他ありませんでした。
千影～・・・っ

次の千影本はほのぼのを・・・(´∩´;)ダーク系 イーイ



■ 奥付 ■

発行 : 夜の勉強会
発行日 : 2005/10/09
印刷 : くりえい社様

無断転載・無断複製・18歳未満購読禁止



夜の勉強会

FOR ADULT ONLY